

団体名	特定非営利活動法人 健康まちづくり推進協会
活動テーマ	第7回全国学生防災書道展



阪神淡路大震災から22年、東日本大震災から6年、そして昨年甚大な被害をもたらした熊本地震など、近年全国各地で毎年のように発生する自然災害の経験と教訓を、後世に伝え備え活かすために、全国の学生を対象として、「防災救命」「震災復興」「自然災害」等の防災に関わる文言をテーマとして、高校生以下は半紙サイズ、大学生以上は半切サイズの毛筆作品を公募したところ、全国から5千点を超える多数の応募が有り、そのうち優秀作品907点を本年2月11日と12日、兵庫県民会館にて作品展示と入賞者の表彰式を実施しました。

更に2月17日と18日、今回は熊本市民会館にて一部入賞者展示会を追加開催し、被災の激しかった熊本県立第一高校及び第二高校を訪問し、入賞者生徒に賞状を授与し交流を図りました。

今年で7年目を迎えるこの事業は、被災地の各自治体と教育委員会、NHK、神戸新聞社などの報道機関の他、防災教育のモデル事業として各界より評価を受け、内閣府、文部科学省、復興庁等から後援を賜り、表彰式では上位入賞者に対して、文部科学大臣賞ほか関係団体各賞の授与に加えて、被災地学生の体験談を披露されました。

また昨年が続いてスマトラ地震で同様の被害を受けたインドネシア高校生の出展など、防災をテーマに国際文化交流を担う成果もあり、この展示会を通じて全国の青少年に自然災害の脅威と命の尊さ、更に平時の訓練と危機管理の必要性を、自ら考えて書作品で表現する事で、青少年の防災教育に大いに寄与するものと期待します。